



Vo.2 No.3 2017  
NEWS  
LETTER 

## CONTENTS

- ・ 第3回異分野間協働懇話会のお知らせ
- ・ 日本心理学会第81回大会若手の会企画報告
- ・ 活躍する若手！（旅費支援事業における受賞者）
- ・ 編集後記

### 第3回異分野間協働懇話会のお知らせ

3回目となる「異分野間協働懇話会」の開催が決定しました！1日目にプレゼン型のポスターセッションを行い、2日目には複数の先生にご講演頂きます。ご講演くださる先生方が決定しましたのでお知らせいたします！

- ・ 繁榊算男先生（慶應義塾大学）
- ・ 河瀬諭先生（名古屋工業大学・ヤマハ音楽研究所）
- ・ 古川洋和先生（鳴門教育大学大学院）
- ・ 鈴木華子先生（立命館大学）

心理学の様々な分野の研究者、実践家と時間をともにしましょう。ぜひスケジュールの確保をお願いします。

---

日時：2018年3月5日(月)~6日(火)

場所：国立女性教育会館（東武東上線武蔵嵐山駅；池袋駅から60分）<https://www.nwec.jp/>

---

詳細はメーリングリストや特設ウェブページにて随時お知らせしていきます。

多くの方々のご参加をお待ちしております！

（佐藤 哲康・久永 聡子・廣瀬 健司）

### 日本心理学会第81回大会若手の会企画報告

＜若手のワンショット発表会＞

第81回大会では、若手の会の新たな企画として、ワンショット発表会を行いました。ワンショット発表会では、各自1分の持ち時間を使い、自身のポスター発表の宣伝を行いました。1分間という短い時間の中ではありましたが、問題意識の概説、実験課題のデモンストレーションなど、それぞれの参加者が独自の方略で発表を行っており、どれも実際のポスター発表を見に行きたくなるものばかりでした。「1分でまとめるのは難しかったが勉強になった」「自分の研究の売りを考えるきっかけになった」などの感想をいただき、初めての試みでしたが楽しんでいただけたようで嬉しく思いました。



（ワンショット発表会の様子）

### <学部生のプレゼンバトル>

今大会では学部生の参加が無料となったことに伴い、学部生たちが研究発表をできる機会として、プレゼンバトルを開催しました。総勢5名の参加者が5分間でこれまでの学習成果や、研究経過について発表しました。院生以上の若手によるワンショット発表にも劣らない、今後の研究が待ち遠しくなるハイレベルな発表が続きました。会場には発表者のみならず、オーディエンスとしても多くの学部生の方にお越しいただき、盛会裏に終わりました。次年度以降も是非企画として継続し、心理学を学ぶ学部生のモチベーション増加につなげられればと思います。



(プレゼンバトル受賞者)

### <進路相談会>

大学院進学に関するシンポジウムとの連動企画として、先輩院生や若手教員による進路相談会を行いました。学部生に加えて、現役の大学院生やPDの方にも多くご参加いただき、進路・就職にまつわる悩みは若手にとってはどの年代であっても共通のものであることを改めて実感しました。自分がやりたい研究ができる大学院はどこか、金銭面はどのようにやりくりしているのか、といった質問をはじめ、不安や悩みを共有する場面も見られ、終始話が止まない活発な場となりました。終了後には参加者同士で連絡先を交換する姿も多くみられ、同じ目標、悩みを持つ若手同士のネットワークにもつながる有意義な企画になったように思います。

(小川 健二・鈴木 華子・前田 駿太)

### <若手の会企画シンポジウム>

大会1日目に、「キャリアパスの第一歩 -大学院の選び方-」というテーマで若手の会企画シンポジウムを行いました。本シンポジウムでは、学生をターゲットとし、研究室選択や現在の大学生活について先輩の若手研究者からお話し頂きました。話題提供者として前田駿太さん(早稲田大院・博士3年)、佐藤徹男さん(ルイビル大・院卒)、宮島健さん(九州大院・博士3年)の3名にご登壇頂き、それぞれのご経験や現在の状況などをお話し頂きました。指定討論者として、大学院生を受け入れるお立場でご活躍されている小川健二先生(北海道大)と古川洋和先生(鳴門教育大)に、普段はなかなか聞くことができない一歩踏み込んだ質問を投げかけて頂きました。想定以上の皆様にご来場頂き、盛況のうちに終了しました。みなさま、ご参加ありがとうございました!



(シンポジウムの様子)

(川越 敏和・三浦 佳代子)

### <旅費支援事業>

今年度初の取り組みとして、日心大会参加に対する旅費支援事業を行いました。これは応募者からの書類をもとに、①抄録の内容(発表枠のみ)、②大会参加への熱意、③金銭支援の合理性、④大会参加で開ける今後の展望性(特に、今後の心理学界への貢献可能性)という観点から幹事会で審査を行い、高評価者に旅費の支援を行う制度です。③と④を項目に含めることを特徴としており、これらを重視することから発表者だけでなく参加の

みの方も支援対象に含めました。結果、全応募者12名の中から4名（内参加枠1名）の方が支援対象者として選ばれました。授与式は大会1日目の若手の会企画の中で行われました。来年度での実施も検討しています。



(授与式の様子)

(黒田 剛士・佐藤 哲康)

### 「活躍する若手！」第3回 旅費支援事業 受賞者の方々

#### 東京大学大学院 修士課程2年

##### 上島 淳史さん

この度は旅費のご支援をありがとうございます。授賞式で挨拶させて頂いたことで、はじめて参加した心理学会の大会でたくさんの方とお知り合いになることができました。ご支援を頂き、私にとって素晴らしい大会となりました。

私は修士課程の院生で社会心理学が専門分野です。ヒトの社会的意思決定が、どのような心的基盤に支えられているのかについて研究しています。特に、「限られた資源をどのようにして社会の成員に分けるか」という分配的正義の問題に関心があります。哲学・倫理学が探究してきた規範理論とのつながり意識しつつ、分配の決定に関わる心理を経験的に明らかにしたいと考えています。

今回の学会では分配的正義の心理基盤についてポスター発表を行い、多様な専門分野の方から有益なコメントを頂きました。今後も大会に参加したいです。この度はありがとうございました。

website: <http://ueshima73.github.io/>

#### 大阪大学大学院 博士後期課程1年

##### 大工 泰裕さん

この度、第81回日本心理学会大会への旅費を若手の会よりご支援いただきました。この場を借りて、御礼申し上げます。

私の専門は社会心理学で、特に詐欺に騙される心理的メカニズムに焦点を当てて研究をしています。私個人は実験室での検討がメインなのですが、現実の詐欺被害防止に繋げるとなると、一人で研究を行うのは困難です。そのため、他分野の研究者の方々やNPOなどの民間の方々との協働が必要となります。

このような研究をしている私にとって、大会参加は他分野の方々と交流できる、またとない機会です。昨年度の大会に参加した際も、他大学の先生にお声がけいただき、詐欺問題を防止するための研究会に加入いたしました。今では、それが国立科学技術振興機構社会技術研究開発センターの大規模共同研究へと繋がり、現在学生ながら実施者として深く関わらせていただいております。

今大会でも、懇親会が例年より参加しやすい雰囲気であったこともあり、認知系・発達系・臨床系など、自身が所属する社会心理学会では出会わないであろう方々と知り合うことができました。丁度、名刺を交換した先輩と、10月の社会心理学会で再会したところでした。今後も大会で出会った方々との交流を継続していきたいと強く思っています。もちろん、研究の場だけでなくお酒の席での交流も大歓迎です。

#### 国際基督教大学大学院 博士後期課程2年

##### ロイ・ソム・スムルトさん

この度は、日心若手の会旅費をいただき非常に嬉しいのとありがたい気持ちです。大会3日間に参加し、初日に若手の会のワンショット発表会とプレゼンバトルのセッションに参加し、幾つもの1分間プレゼンテーションを聞いて、自分の発表に興味を持ってもらう為の発表のコツを学びまし

た。私は英語でポスター発表をしましたが、他の様々なポスターを見て、来年は日本語で作ることに挑戦したいと思いました。また大会中、ポスター会場内だけでなく、いくつかの招待講座やシンポジウムセッションにも参加しました。その中で特に印象に残ったのは睡眠を学ぶ講座で、詳しい内容を分かりやすい言葉で学ぶことができました。

学会にて様々な研究をしている教授や学生と出逢って話をすることはとても勉強になると思いますので積極的な参加をおすすめします。参加希望の若手の方は、ぜひ1分間プレゼンテーションと5分間のプレゼンバトルに参加してみてください。

### 編集後記

今号は、第3回異分野間協働懇話会のお知らせに始まり、日本心理学会第81回大会若手の会企画報告、活躍する若手と内容が盛りだくさんでした。日本心理学会の学部生のプレゼンバトルは私もオーディエンスとして参加しましたが、「日本の心理学はこれからも大丈夫！」という明るい希望を持たせてくれるものでした。もうそろそろ若手を卒業する身としては、素晴らしいお土産をもらった気分です。参加した学部生の方々は、いずれも自分の「大きなヴィジョン」を話してくれました。最近常々感じるのは「大きなヴィジョンを持って、具体的に活動していくこと」の重要性です。その大きなヴィジョンを持つためには、様々な分野の方と交流することが大切で、その良い機会の一つが、今回お知らせがあった異分野間協働懇話会だと思います。そのようなわけで、ぜひ皆様ご参加ください！

最後に、次号からこの編集後記は幹事の三浦先生が担当します。よろしくお願ひします。

発行：若手の会幹事会

〒113-0033 東京都文京区本郷

5-23-13 田村ビル内

公益社団法人日本心理学会事務局

[ips-ecp@psych.or.jp](mailto:ips-ecp@psych.or.jp)

2017年12月22日発行

編集：若手の会幹事会

